

2014年6月1日

ブライアン・ブルエット牧師

クリスチャン経済における七本の矢-5

導入

七本の矢の学びから、皆さんが何かを学び得ていることを願います。私がこの教会で目指すのは、神の愛を体験できる場所、愛されていると感じられる場所となることです。また、聖書の教えに根差したキリスト中心の教会となることです。教会に来るだけではなく、私たちが教会となる必要があります。これまで学んだ四本の矢は、**1) 祈りの必要性と価値、2) 励ましを受ける教会、3) 不当に裁かれない教会、4) 聖書に則ってあらゆるものを管理する教会**でした。矢の例をとって話している理由をみことばから振り返ってみましょう。また、互いが励まし合い、クリスチャンであることを喜ぶ教会を思い描いたことも振り返りましょう。ともに成長する中で、お互いが協力する教会になる必要があります。私たちは袋に入れたビー玉のようでしょうか。それとも、しっかり幹につながったぶどうのようでしょうか。

イザヤ書 49:2,3 49:2 主は私の口を鋭い剣のようにし、御手の陰に私を隠し、私をとぎすました矢として、矢筒の中に私を隠した。 49:3 そして、私に仰せられた。「あなたはわたしのしもべ、イスラエル。わたしはあなたのうちに、わたしの栄光を現す。」

では、五本目の矢について学びましょう。

五本目の矢： 霊的に成長する教会

自分は霊的に成長しているのだろうかと思うことがあります。二歩進んでは一歩下がっているような気がします。成熟した信仰とはどういうものを本当に理解しているのだろうか疑問に思うこともあります。みことばは、賞を受けるために私たちは走ると語ります。

I コリント 9:24 競技場で走る人たちは、みな走っても、賞を受けるのはただひとりだ、ということを知っているでしょう。ですから、あなたがたも、賞を受けられるように走りなさい。

その賞とはもちろん神とともに過ごす永遠のいのちのことです。コリント第二 **3:18** は、私たちが主と同じかたちに変えられていくとも語ります。賞とはイエスに似た者となることであり、その賞を受けるには、霊的な成長を遂げる過程にいなければなりません。

II コリント 3:18 私たちはみな、顔のおおいを取りのけられて、鏡のように主の栄光を反映させながら、栄光から栄光へと、主と同じかたちに姿を変えられて行きます。これはまさに、御霊なる主の働きによるのです。

キリストに似た者となるとは、つねに進行形です。キリストに従えば従うほど、主と似た者となります。

成熟した信仰とは、イエスを愛し、人を愛して、イエスと似た者となることです。その完成形は、私たちの人格や日常の言動に大きな変化をもたらすはずで、キリスト教とはイエスとの「つながり」です。そのつながりの中で、私たちはイエスへの愛を深めます。また、日ごろから信念とするところ（信条、人格、行いなど）がイエスと似たものとされていきます。人生の成功に近道はありません。霊的な成長や成熟にも時間がかかります。今日の聖書箇所はテモテ第一 **4:7,8** です。

I テモテ 4:7-8 俗悪で愚にもつかぬ空想話を避けなさい。むしろ、敬虔のために自分を鍛練しなさい。4:8 肉体の鍛練もいくらかは有益ですが、今のいのちと未来のいのちが約束されている敬虔は、すべてに有益です。

私たちの霊的成長を促す3つの習慣を今日皆さんにご提案します。

習慣 #1 日曜とともに礼拝するために集まる！！

ヘブル 10:24-25 また、互いに勧め合って、愛と善行を促すように注意し合おうではありませんか。10:25 ある人々のように、いっしょに集まることをやめたりしないで、かえって励まし合い、かの日が近づいているのを見て、ますますそうしようではありませんか。

教会に来なくてもよいなどという嘘を信じてはいけません。教会に集わずに、信仰を働かせて成長しているクリスチャンにはなれないと思います。教会に集うことは、霊的成長を促す習慣をつける第一歩です。これは誰でもできることです。日曜の朝に教会に来ることに、特別な才能は必要ありません。何についても言えることですが、それぞれ自分が捧げただけのものを礼拝で受けます。めんどうくさいと思いながら教会に来るなら、礼拝からあまり得ることはできないでしょう。率先して礼拝に参加する必要があります。心から賛美を歌い、しっかり聞いて実践しようという心構えで説教に耳を傾けましょう。献金は惜しみなく捧げ、奉仕は喜びとやる気をもってやりましょう。つまり、一生懸命かかわるということです。私たちの想像以上に、神はこれらのことを用いて私たちの益としてくださり、成長させてくださいます。こうすることで、教会全体が建て上げられます。

習慣 #2 信徒同士でつながる。

使徒 2:46-47 そして毎日、心を一つにして宮に集まり、家でパンを裂き、喜びと真心をもって食事をともにし、2:47 神を賛美し、すべての民に好意を持たれた。主も毎日救われる人々を仲間に加えてくださった。

成長を促すふたつめの習慣は、信徒同士でつながることです。これは、教会の礼拝だけでなく、少人数のグループを意味します。ともに学び、交わり、成長していくというのはすばらしいものです。初代教会にも当初からふたつのタイプの集会がありました。ひとつは神殿、つまり今日の教会で大勢が集まる集会です。もうひとつは家庭集会で、私たちがスモールグループと呼ぶものです。少人数のグループのよいところは、友情を育めることです。スモールグループでは、みことばを学ぶことはもちろん、ともに祈ったり、互いを思いやったり、楽しいときを過ごしたりできます。皆さんにお聞きします。OICにおけるキリストの体があるあなたのことを知らずにあなたのことを気にかけることができるでしょうか。牧師が体である教会に仕えるのではなく、体である教会がお互いに仕え合うのが健全な教会の姿です。おもてなしの賜物を神が与えられたのは、用いるためです。教会に遅れて来て、早めに帰る人がいます。この教会が提供するおもてなしをどうぞ受け取ってください。交わりの時間に参加して、信徒同士のつながりにぜひ加わってください。

ローマ 12:13 聖徒の入用に協力し、旅人をもてなしなさい。

スモールグループもいくつかありますので、どうぞ活用してください。

習慣 #3 日々静まってイエスと交わる時を持つ。

成長を促す3つめの習慣は、日々静まってイエスと交わる時を持つことです。イエスご自身さえも、ひとりになって祈り、御父に語りかけておられました。

ルカ 5:16 しかし、イエスご自身は、よく荒野に退いて祈っておられた。

私たちは、毎日時間を取ってイエスと交わる必要があります。私自身は週に 15 時間程度、学びや説教の準備のために聖書を開いています。それでも、神だけと過ごす特別な時間が必要です。私が使っている方法は、ウェイン・コデイロの「あなたを導く神様の個人レッスン」という本に紹介されたものです。この本で、SOAP（ソープ、石鹸）と呼ばれる方法です。神のみことばは私たちをきよめてくれるので、ぴったりの呼び方だと思います。

ヨハネ 15:3 あなたがたは、わたしがあなたがたに話したことばによって、もうきよいのです。

その方法をここにご紹介します。

S は Scripture 「みことば」を指します。

S. Scripture みことば

毎日聖書を読みましょう。私はたいてい一章だけ読みます。もっとたくさん読もうとしたこともありますが、神のみことばを少しずつ読んで味わうほうがよりよく吸収できることに気付きました。

詩篇 119:105 あなたのみにことばは、私の足のともしび、私の道の光です。

O は Observation 「観察」を指します。

S. Scripture みことば

O. Observation 観察

読んだ章の中で、その日自分が何かを学んだ箇所はどこだったか考えます。印象に残った一節がきっとあるはずです。

ローマ 10:17 そのように、信仰は聞くことから始まり、聞くことは、キリストについてのみにことばによるのです。

A は Application 「適用」を指します。

S. Scripture みことば

O. Observation 観察

A. Application 適用

読んだ内容を日常生活に当てはめるにはどうすればよいか考えます。

II テモテ 3:16 聖書はすべて、神の靈感によるもので、教えと戒めと矯正と義の訓練とのために有益です。

P は Prayer 「祈り」を指します。

S. Scripture みことば

O. Observation 観察

A. Application 適用

P. Prayer 祈り

みことばを読んで観察し、日常生活にあてはめて考えたら、次に、神に祈りをささげるのが適切でしょう。とりなしや賛美、自分自身の心配事についてなどさまざまな内容について祈

ります。SOAP を使って、聖書を一日一章読むのを一カ月続けてみてください。私がこの方法で聖書を読み始めた時、箴言から読みました。箴言は知恵の書と呼ばれます。箴言のみことばで最近読んだ箇所をご紹介します。

箴言 8:10-11 銀を受けるよりも、わたしの懲らしめを受けよ。えり抜きの黄金よりも知識を。
8:11 知恵は真珠にまさり、どんな喜びも、これには比べられないからだ。

結び

最後に、神はこの教会に素晴らしいご計画をお持ちだと私は確信しています。そのご計画の実現は私たち一人一人から始まります。以前に申し上げましたが、教会にいる一番弱い信徒によってその教会の強さを測ることができると思います。皆さんにお勧めした3つの習慣を実践してください。3つの習慣とは、1) 日曜に、ともに礼拝するために集まる、2) 信徒同士でつながる、3) 日々静まってイエスと交わる時を持つ、でした。これらを実践するなら、一番弱い信徒が強められるだけでなく、一番強い信徒も同様に強められるでしょう。これらを実践するなら、クリスチャンとして生きる喜びを見出し、自ら率先して仕えたいと思うようになるでしょう。また、兄弟姉妹にもそうするよう励ますようになるでしょう。惜しみなく献金し、日曜礼拝を待ち遠しく思う自分に気づくでしょう。神が召してくださるなら喜んで何でもします、という気持ちになるでしょう。

祈り